

CAMPUS 八戸学院

vol.40

八戸学院 NEWS <CLOSE UP!>

八戸学院幼児保育学科棟完成

特集

Work Study in the Library

中村キヤ学院長 告別式

主よ 永遠のやすらぎを
彼女にあたえたまえ
絶えざる光を
彼女の上に
照らしたまえ



マリア・ルドビカ 中村 キヤ

大正 12 年 10 月 2 日 生
平成 28 年 2 月 2 日 帰天（享年 92 歳）



2 月 11 日合同告別式

ご冥福を

お祈りいたします

去る二月二日

学院長 中村キヤ先生は

九十二歳で逝去されました。

二月十日 学校法人光星学院
と中村家合同の告別式が滞りな
く執り行われました。

多くの皆様にお見送りいただ
きありがとうございました。

第二代学校法人光星学院理事長

昭和 58 年～平成 13 年

光星学院高等学校校長

昭和 37 年～昭和 60 年

平成 3 年～平成 12 年

光星学院野辺地西高等学校校長

平成 10 年～平成 12 年

学校法人光星学院学院長

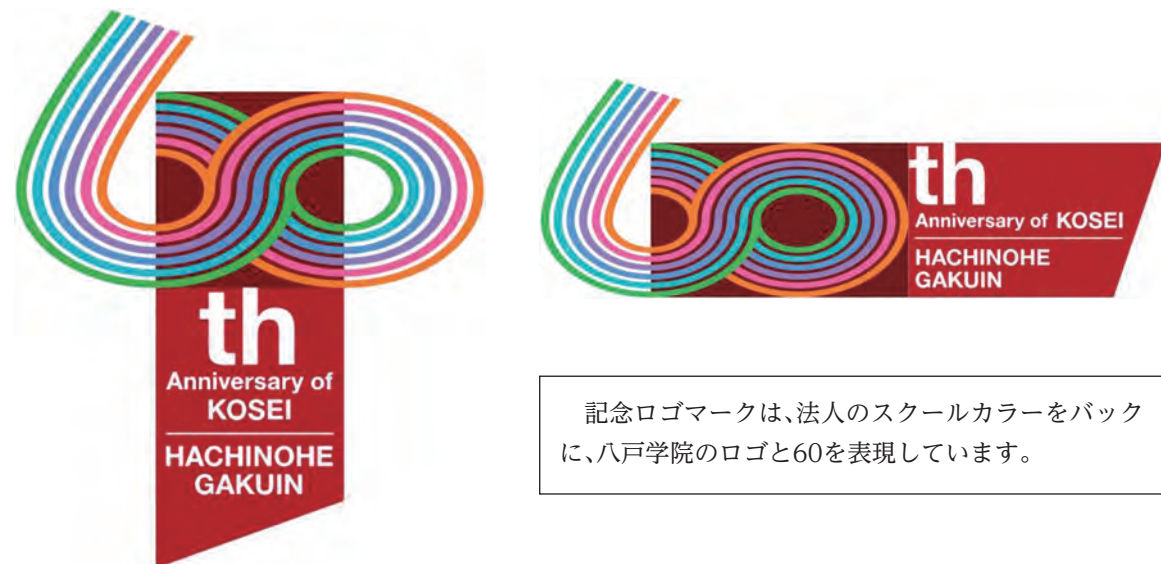
平成 12 年～

平成 3 年 八戸市教育功労賞

平成 11 年 青森県褒賞

平成 12 年 勲三等瑞宝章

法人創立60周年記念ロゴ決定



記念ロゴマークは、法人のスクールカラーをバックに、八戸学院のロゴと60を表現しています。

平成29年、法人は創立60周年を迎えます。平成28年1月5日に開催しました「新年の集い」の席上で、具体的計画と記念ロゴをご披露いたしました。記念事業については今年度より準備に入り、2年の間に各教育施設がそれぞれ独自に実施する記念行事、法人が創立60周年記念事業協賛会とともに実行する企画が次々に繰り出されてまいります。

創立60周年は、学校法人光星学院に様々なご縁がかかわっていただいた多くの皆様のご尽力があつて迎えることができます。このことに感謝の意を表し、全教職員一体となって創立60周年を盛り上げてまいりましょう。



古川 聡
学校法人光星学院
常務理事 事務局長

第88回 選抜高等学校野球大会出場決定 !!



甲子園出場が決まり歓喜に沸く光星ナイン

- ・3年連続9回目の出場(春夏通算16回目)
- ・組合せ抽選会 3月11日(金)
- ・大会日程 3月20日(日)から12日間

皆さまの応援よろしく願いいたします。

CONTENTS

- 2 読書のススメ
- 3 八戸学院 NEWS<CLOSE UP! 1>
- 4 八戸学院 NEWS<CLOSE UP! 2>
- 6 特集
Work Study in the Library
- 8 八戸学院 NEWS / イベント情報
- 14 学びの時間
八戸学院短期大学附属 3 幼稚園 特別授業
- 16 職員ファイル
- 18 理事長散策
- 20 HACHINOHE GAKUIN CAMPUS SPOT
校舎の雪囲い



植物の不思議

ふるさと「植物の不思議」 ～野菜と果物編～「植物の不思議Ⅱ」

著 者：斗沢 栄一

「かさぶたで」身を守るバナナ。面白い見出しで野菜や果物を写真入りで紹介しているこの本は、三本木農業高校校長を最後に定年退職された、斗沢栄一先生の～野菜と果物編～「植物の不思議Ⅱ」である。バナナに傷がつくと黒褐色になるのは、そこから病原菌が入ってくることを防ぐためであり、黒い物質で固める事で傷口を覆ってしまい、人間に当てはめると傷口にかさぶたができたようなものということや、野菜と果物の見分け方は？など、わかりやすく書いてある。身近な野菜や果物が、私たちの健康にどれだけパワーを与えているかということがよく分かり、早速、子ども達に本を開きながら読んであげると、写真を見ながら「そうなんだ…」という声が聞こえてきた。スーパーの野菜や果物、それぞれが持っている不思議な力が生きる事に繋がっていることをこの本を通して知ってほしいと思った一冊である。



道合 康子
八戸学院短期大学
附属幼稚園 園長

CAMPUS 八戸学院

vol.40



表紙

美保野キャンパスに八戸学院短期大学幼児保育学科棟が完成しました。開放的な吹き抜けとステンドグラスが印象的な校舎です。

建学の精神

「神を敬し、人を愛する」

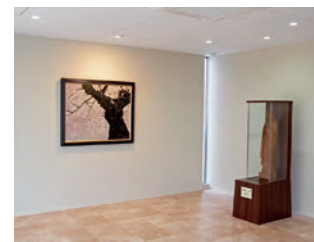
カトリックの精神に則る道德教育を施し、高尚なる人格の完成を期し、現代社会が要請する有為の人材を育成することをもって目的とする。(寄付行為 第3条)



八戸学院大学・八戸学院短期大学図書館は「地域に開かれた大学図書館」として、地域住民の方も無料でご利用いただけます。

- 八戸学院大学 TEL 0178-25-2711
- 八戸学院短期大学 TEL 0178-25-4411
- 八戸学院大学・八戸学院短期大学
地域連携研究センター
TEL 0178-25-2789
- 八戸学院大学・八戸学院短期大学
図書館 TEL 0178-30-1695
- 八戸学院光星高等学校
TEL 0178-33-4151
- 八戸学院光星高等学校専攻科
TEL 0178-25-6322
- 八戸学院野辺地西高等学校
TEL 0175-64-4166
- 八戸学院短期大学附属幼稚園
TEL 0178-34-5765
- 八戸学院短期大学附属幼稚園
聖アンナ TEL 0178-45-3670
- 八戸学院短期大学附属幼稚園
第二しのめ TEL 0178-25-2488

<http://kosei.hachinohe-u.ac.jp/>

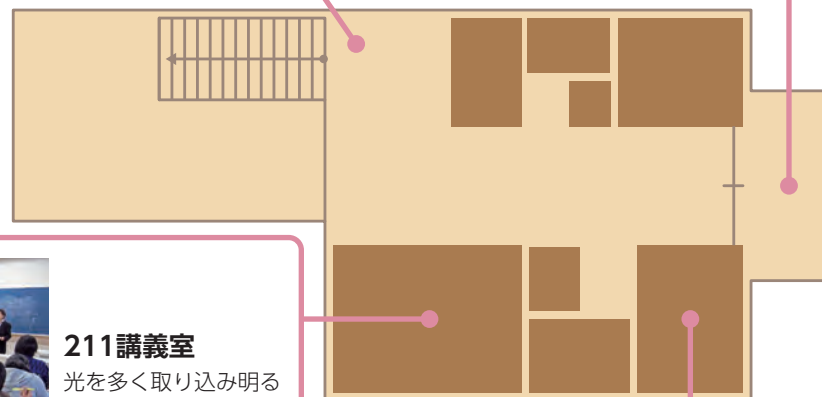


エントランス
画家 廣畑正剛氏寄贈の絵画が展示されています。スポットライトに照らされた絵画を眺めていると美術館にいるような錯覚に陥ります。



正面玄関
アプローチブリッジを渡り玄関へ。東向きに玄関の配置を変更したことで図書館や学生食堂へのアクセスが格段に向上しました。

2F



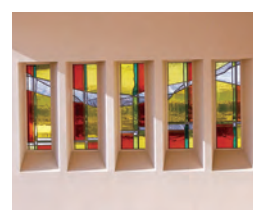
211講義室
光を多く取り込み明るく温かみのある講義室となっています。



事務室
玄関を入って左の窓口では証明書発行から試験、就職まで学生生活をサポートします。

ステンドグラス

スチューデントホールに設置されたステンドグラスは、西日が差し込むと壁面にステンドグラスの模様が映し出されるよう角度が調整されています。



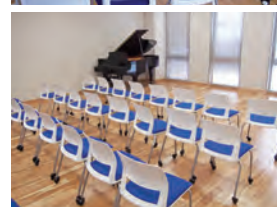
1F



スチューデントホール・中庭
吹き抜けと大きな窓が印象的なスチューデントホール。天井までガラス張りの窓を全開にすると中庭と一体になり、階段を客席にしてゼミ発表会など様々な利用の仕方ができます。

111講義室

音楽室、保育実習室として使用されています。保育実習室では、保育実習を疑似体験する模擬保育が行われます。大きな鏡が設置され、自分の動きを確認することができます。



八戸学院短期大学幼児保育学科棟完成！

美保野キャンパスに新たに完成した幼児保育学科棟を紹介します。



外崎 充子
八戸学院短期大学 学長

昨年12月19日、八戸学院短期大学の幼児保育学科棟が完成し、竣工祝別式が行われました。

新校舎は管理部（事務室・学長室・応接室・講師控え室）と講義室・保健室等から成り、旧校舎と繋がる廊下（スチューデントプラザ）も瀟洒な空間として新設されました。また、昇降口が東口に一本化され、キャンパス内の図書館や学生会館への距離がぐんと短くなりました。

新校舎は全校舎の一部ではありますが、明るく爽やか、最新の設備を備えています。学生と教職員が園児も交えて、学び合い、語り合い、遊び合う場として絶好の建物となりました。

このような喜びと恵みをお与えくださった神と、建設に携わった関係各位に、幼児保育学科一同、心からのお礼を申し上げます。

竣工祝別式・落成祝賀会 [12/19]

美保野キャンパス内に完成した「八戸学院短期大学幼児保育学科棟」の竣工祝別式が執り行われました。式には、法曹理事長をはじめ、来賓や工事関係者が参列し、佐藤神父による祝福の祈りや共同祈願が行われました。式終了後、八戸学院短期大学学生ホールにて落成祝賀会が開催され、工事の完成をお祝いました。



竣工祝別式(111講義室)



落成祝賀会



八戸学院大学・八戸学院短期大学図書館

情報メディア課には、図書館事務と情報システム管理の業務があり、8人の学生が授業の空き時間を有効に活用してそれぞれの業務に勤しんでいます。

仕事の内容は、図書館開館前の館内清掃から始まり、朝刊の整理、カウンターでの図書の貸出・返却の対応、図書の配架、書籍の装備、目録作成、書誌データ作成、パソコントラブルの対応やメンテナンスなど様々です。

仕事に対しての賃金は支払われますが、単なるアルバイトではなく、就業体験に基づく人材育成を目的としているのでキャリアの形成、社会人としてのマナーや常識を身に付けることも目的としています。



学生スタッフ



開館準備

開館する前に、各紙朝刊を整理したり、館内の机を拭いたり、掃除機がけなど清掃を行い、利用者の方々を迎え入れる準備をします。



配架

配架とは、図書などの資料を指定の場所（書架）に配置することです。新たに受け入れた図書や返却された本を指定の場所（書架）に配置し、次の利用者のためにそれぞれの棚に配架します。書架の配架の原則は、一番上の棚から順に、請求記号順に左から右に並べます。



蔵書点検・整理

図書等の資料を配架順（請求番号順等）に並んでいることを確認し、正しい順序に並べ替え、本を見やすく探しやすいようにしたり、蔵書が欠本となっていないか確認し、蔵書検索におけるデータの正確性を高めていきます。



カウンター業務には様々ありますが、学生スタッフの主な仕事として、利用されるみなさんに図書の貸出と返却受付を行います。図書館を利用する人と常に向き合っていくのでコミュニケーション力向上にも役立ちます。その他に図書の目録や書誌データなども作成します。



カウンター業務

図書館資料を利用に供する前に、その館の所有物であることを示し、配置場所などを表示し、破損・汚損に耐えるように保護・強化するなどして、貸出可能にするために行う一連の作業です。学生スタッフはラベル貼りなどをを行います。



装備・修理

情報システム管理では、教職員やコンピュータ実習室の端末のメンテナンス、トラブル対応を行います。



PCヘルプ・デスク

イベント情報 平成28年2月～4月

八戸学院大学・八戸学院短期大学

- ▼オープンキャンパス
3/5(土)10:00～13:00
- ▼学位記授与式 3/17(木)
※八戸プラザホテルアーバンホール
- ▼入学式 4/6(水) ※八戸市公会堂

八戸学院短期大学

- ▼オペレッタ発表会
2/14(日)10:00～12:00
※八戸市公民館
※八戸市主催：子どもフェスタにて

平成28年2月現在
詳しくは、各大学・短大にお問い合わせください。

平成28年度入学願書受付情報

八戸学院大学

- ◆ビジネス学科／人間健康学科
- ▼AO入試(C日程)
12/1(火)～3/1(火)
- ▼一般入試(後期)
2/23(火)～3/10(木)
- ▼センター利用(B日程)
2/3(水)～2/17(水)
- ▼センター利用(C日程)
3/1(火)～3/16(水)
- ◆看護学科
- ▼一般入試(後期)
2/23(火)～3/10(木)

八戸学院短期大学

- ◆幼児保育学科
- ▼一般入試(第Ⅱ期)
2/23(火)～3/10(木)
- ▼センター利用
3/1(火)～3/16(水)
- ◆ライフデザイン学科
- ▼AO入試(C日程)
12/1(火)～3/1(火)
- ▼一般入試(第Ⅱ期)
2/23(火)～3/10(木)
- ▼センター利用
3/1(火)～3/16(水)

入試の詳細は、下記にお問い合わせください。
八戸学院大学・八戸学院短期大学
キャリア支援課 TEL.0178-30-1700

短大 平成27年度ゼミナール研究成果報告会 [12/9]

平成27年度幼児保育学科ゼミナール研究成果報告会が大学会館で行われた。これまで取り組んできた研究成果の最終報告とあって、どのゼミも熱のこもったプレゼンテーションだった。パワーポイントを使っ



短大 看護学科第5回卒業研究発表会 [12/21]



看護学科の卒業研究発表会が開催された。卒業研究は、看護学の専門分野から学生が研究テーマを決定して2年次から取り組んできたものである。今年度は、8つの看護専門領域から選出された10名が研究成果を発表した。研究テーマは看護に関する幅広い領域にわり興味深いものとなった。

また、今年度も昨年度と同様に他学部の教員からも多くの質問が出され研究を進展させるための示唆を大変多くいただくことができた。さらには熱心に聴講した1・2年生たちからも質問が出されたことは研究に対する動機づけの強さを反映するものであった。1・2年生からは、「これから行う卒業研究をより深めていくための参考となった」「先輩方のように自分の調べた研究について自信をもって発表をしたり、発表会を運営できるようになりたい」などの感想が聞かれ、学生にとって有意義な時間であった。ご協力いただいた方々に深く感謝申し上げます。

短大 ライフデザイン学科就職セミナー [2/5]

ライフデザイン学科1年生を対象とした就職セミナーが八戸シーガルビューホテルで開催された。

一日という短い時間の中、外部講師による講話やビジネスマナー講座などが行われた。講話では、社会人として働くための心構えや就職活動を成功させるためのポイントが話され、講師として招かれた本学科の卒業生からは激励のエールが送られた。

学生たちは普段着慣れないリクルートスーツや、ビジネスマナーに苦労している様子であったが、真剣なまなざしで受講する学生たちの表情からは、就職活動を乗り切ってくれるであろう頼もしさが感じられた。



大学 内定者報告会 [12/7・12/10]



大学1年生と3年生を対象に、平成27年度内定者報告会が実施された。

内定を受けた4年生が後輩たちに向けて就職活動を時系列で説明したり、採用担当者に評価されたと思う自己PRのポイントを説明した。参加した学生達にとっては、現在の学生生活が就職活動に繋がっていることや就職活動に真剣に取り組むことの重要性を理解する機会となった。

大学 アイスホッケー部7度目の東北王者 [11/22-24]

日本学生氷上競技選手権（インカレ）の予選を兼ねた東北地区学生アイスホッケー選手権が地元テクノアイスパーク八戸で行われ本学アイスホッケー部が3年ぶりに優勝、7度目の東北王者に振り返り。インカレ予選となる本大会では、過去2大会連続（H25、H26）で準優勝していたが今年度は、精神面やプレーの精度を上げるなど戦力を充実させ優勝できるチームを作ってきた。その成果は初戦から大量得点での勝利に結びつき、そのままの勢いで決勝へ進出した。決勝戦では、地元開催ということもあり、たくさんの観客の声援をうけ7-2で快勝した。試合終了後のリンク上では高島監督他、コーチ陣が宙に舞い、優勝カップを手にした選手たちの表情は、応援にかけつけてくれた人たちの拍手とともに喜びに満ち溢れていた。



■東北地区アイスホッケー選手権 本学の対戦スコア
[1回戦] 14-0 東北大学 [準決勝] 6-4 東北学院大学 [決勝] 7-2 東北福祉大学
※東北第1代表として、栃木県日光市で行われたインカレ（1/6）に出場。専修大学と対戦し1対6で敗れた。

大学 クラブ・サークル活動報告会・懇親パーティ開催 [12/18]

平成27年度八戸学院大学学生会主催「クラブ・サークル活動報告会・懇親パーティー」が八戸グランドホテルで行われた。当日は、クラブ・サークル所属学生および教職員186名が参加した。活動報告会では、クラブ・サークルの各代表者から今年度の活動報告や来年度に向けての抱負など発表を行い、懇親パーティーでは学生と教職員の交流、硬式野球部、サッカー部、陸上競技部、ラグビー部による余興があり、賑やかな楽しい時間を過ごした。文武両道はもちろんの事、八戸学院大学の学生としての自覚を持つことを改めて確認できた場でもあった。来年度は今年度を上回る成績を残せるよう頑張る事を誓い閉会した。



八戸学院 NEWS

平成27年 平成28年
11月～1月

イベント情報 平成28年2月～4月

八戸学院光星高等学校

- ▼卒業式 3/1(火)
- ▼一日入学 3/20(日)
- ▼入学式 4/7(木)

八戸学院光星高等学校専攻科

- ▼卒業式 3/13(日) ※八戸パークホテル
- ▼入学式 4/10(日)

八戸学院野辺地西高等学校

- ▼卒業式 3/3(木)
- ▼入学式 4/8(金)

平成28年度入学願書受付情報

八戸学院光星高等学校

- ▼二次入試 3/14(月)～18(金)

八戸学院光星高等学校専攻科

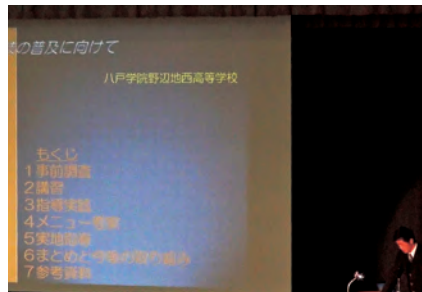
- ▼Ⅲ期：推薦入試／Ⅲ期：一般入試
12/1(火)～3/4(金)

平成28年2月現在
詳しくは、各高等学校にお問い合わせください。

野西高

平成27年度 第2回青森県総合学科 高等学校研究発表会 [12/25]

青森大学講堂で「平成27年度青森県総合学科高等学校研究発表会」が行われ、本校は3年生が総合的学習の時間で行った「サッカー競技の普及について」というテーマで発表を行いました。ジュニア育成はサッカー競技の普及の為には欠かせないものと考え、生徒自らがキッズ指導員の資格を取得し、保育園の協力を得て実技指導をする内容でした。発表した生徒からは、「子ども達にサッカーの面白さを伝えることができたと思う。」「子ども達とサッカーが楽しめた。」との声が聞かれました。実際に保育園において実技指導する映像も交えた発表は審査員から好評を得ていました。



また、これに先立って21日(月)に校内学習発表会が開催されました。第Ⅰ部は3年生による『総合的な学習の時間』の研究・活動の発表、第Ⅱ部は文化系活動の発表の2部構成で行われました。

専攻科

自動車科の研修旅行が終了 [11/4～7]



自動車科の1・2年合同の研修旅行は2年に一度開催される東京モーターショーに合わせて行われます。研修の目的はこのモーターショーと自動車メーカーの見学を通して、自動車整備士としての知識を深めることです。

今回の東京モーターショーでは、各メーカー選りすぐりの車が展示されており、その中でも特に目を引いたのはハイブリット関係の省エネ対策車やそれに関連する機器や部品の展示でした。また、自動車メーカーの研修では福島県の「日産自動車株式会社いわき工場」でエンジンの製造過程を見学しました。どちらの見学も車の最先端技術を知るには、とても有意義な研修でした。

野西高

修学旅行 京都・神戸・大阪 [12/4～8]



今年度は京都体験学習＋姫路城・神戸を主として計画を立てました。出発の日には雪が舞い肌寒さを感じながら、新幹線で京都へ。弥栄会館で日本の伝統芸能である茶道・琴・華道・狂言・舞妓京舞を鑑賞しました。2日目は、八橋・みたらし団子・豆腐・友禅等の手作り体験、生徒達は真剣な表情で取り組んでいました。3日目は京都から兵庫県に移動して、平成の修理が終え5年ぶりに一般公開された世界文化遺産・国宝の「姫路城大天守」を見学しました。「化粧直し」を終えた大天守は「白鷺城」の名の通り、遠目にも白く輝き雄大に見えました。4日目は生徒達が楽しみにしていた、ユニバーサル・スタジオ・ジャパン(USJ)での自由散策、事前にアトラクションやイベントなどを入念に調べ、エクスプレスパスを購入してアトラクションに乗り込み集合時間ギリギリまで満喫していました。旅行期間中は天候に恵まれ、高校生活最大の思い出となる修学旅行が無事終了しました。

平成27年度 上十三地区赤十字奉仕団 活動研究会に参加して [10/13]

野辺地町中央公民館で開催された平成27年度上十三地区赤十字奉仕団活動研究会において、JRC活動の活動発表をする機会をいただきました。

上十三地区から奉仕団に参加しているメンバーから約200名参加し、地元奉仕団の取り組み報告の後、本校からはボランティア部部長の3年山田 茜さんがパワーポイントを用いてこの1年間の活動と先輩達がおこなってきた活動を発表しました。多岐にわたる本校の活動に、参加者の皆さんから「頑張っているね」とお褒めの言葉をいただきました。活動発表後にアトラクションとして本校の祇園囃子を披露すると、大きな拍手をいただき生徒達も達成感を感じていたようでした。



光星高

修学旅行 九州・関西方面へ [11/16～20]

4泊5日の日程で長崎、福岡、京都、大阪を巡りました。中でも特に印象に残ったことは、長崎平和公園で行われた平和セレモニーです。献花後の平和を願う生徒代表スピーチは、生徒一人ひとりの心に響くものでした。スピーチ終了後には、一般の方々も含めて自然と大きな拍手がわき起こり、今回の修学旅行で最も感動する場面でした。この旅行を通じて、生徒たちは、集団行動の意義を十分理解し行動することができ、ひとまわり成長しました。改めて本校生徒の純粋な心や人を思いやる優しさを感じることができました。また保護者の方々をはじめ準備していただいた多くの方々に心から感謝申し上げます。

光星高

3年間の被災地訪問を行って ～チアリーディング部、吹奏楽部～

私達は3年間、被災地訪問を行いました。

数年経った今も海沿いには津波の跡が残されていたり、校庭には仮設住宅が建っていることに衝撃を受けました。しかし、被災地の方々はとても元気で、私達が逆にパワーを貰うこともあり、これからも訪問活動を通し、一人でも多くの方に笑顔になって貰いたいです。



H25/11/7 特別養護老人ホーム平安荘 (岩手県山田町)



H26/10/10 岩手県山田町立船越小学校



H27/9/25 岩手県山田町立山田南小学校

専攻科

介護実習Ⅰを終えて [8/27～10/16]



介護福祉科1年生24名がデイサービス、グループホームなどの6事業所に分かれて実習を行いました。この介護実習Ⅰは、介護を必要とする利用者の生活の場である多様な介護現場において利用者の理解を中心とし、併せて利用者とその家族の関わりを通したコミュニケーションの実践や介護技術の確認をすることを目的に行われます。初めての校外実習ということで、戸惑いながらも学生一人ひとりが、コミュニケーション方法や介護技術を学ぶことができました。学生間の情報交換も兼ね、11月16日(月)に学内反省会を実施しました。ご協力いただきました事業所の皆様に深く感謝申し上げます。



スズキ技術講習会が終了 [11/24]

株式会社スズキ自販青森様のご協力により、本校の実習場において技術講習会を実施しました。講習内容は、座学では電子制御燃料噴射システム(EPI)エンジンと故障診断方法に関する講義等でした。また、実習では故障診断機「スズキ S D T-Ⅱ テスター」の操作方法等について、実習車ワゴンRを使用して指導を受けました。

この講習会に参加し最先端技術に触れた学生達の感想は「理解しやすい講義だった」「受講して大変良かった」「大変勉強になりました」「機会があったら次の講習にも参加してみたい」等でした。ご指導くださいました企業の皆様には心よりお礼申し上げます。



八戸学院 NEWS

平成27年 平成28年
11月～1月



イベント情報 平成28年2月～4月

八戸学院短期大学附属幼稚園

- ▼一日入園
2/20(土) 10:00～11:30
- ▼卒園式
3/15(火) 9:30～11:30
- ▼入園式
4/9(土) 10:00～
- ▼未就園児教室
2/17(水) 10:00～11:30
4/23(土) 10:00～11:30 ※開講式

八戸学院短期大学附属幼稚園 聖アンナ

- ▼一日入園
2/20(土) 10:00～11:30
- ▼卒園式
3/11(金) 10:00～
- ▼入園式
4/9(土) 13:00～

八戸学院短期大学附属幼稚園 第二しのめ

- ▼一日入園
3/3(木) 10:00～11:30
- ▼卒園式
3/12(土) 10:00～
- ▼入園式
4/8(金) 10:00～
- ▼ポケット広場
2/4(木) 10:00～12:00

平成28年2月現在
詳しくは、各幼稚園にお問い合わせください。

附属 食育体験 ～収穫の喜びをお料理会で味わう～ [1/19]

八戸市農業経営振興センターのご協力の下、春に苗植えをし、管理していただいたさつま芋を秋に収穫しました。そのさつま芋を蒸して冷凍保存し、今回、満3歳・年少組は「お芋ヨーグルト」、年中組は「お芋パンケーキ」、そして年長組は「お芋パイ」に調理して、美味しく頂きました。子どもたちからは、「お芋を切るのは簡単だった」「紫と黄色と白いのと、どのお芋にするか選ぶのが楽しかった」「焼いている時にいい匂いだった」「お母さんとお家でも作る約束をしたんだ」との声が聞かれました。さつま芋の苗植えから始まり、収穫の喜び、調理の楽しさ、味わって食すという体験を通して、食に関心をもち、感謝の気持ちをもって楽しむことができました。



聖アンナ こどものためのクラシックコンサート [1/23]

ハンドベル演奏 八戸学院短期大学「イングリッシュハンドベルの会」
ヴァイオリン演奏 高橋すみれさん(伴奏 佐藤慎悟さん)



子どもたちが家族そろって音楽を楽しむようにと企画しました。いろいろな大きさのハンドベルが奏でる音色を楽しんだ後は、子どもたちも大人の方々もハンドベルに触れて実際に音を出す体験をしました。海外でも演奏経験豊富な高橋すみれさんは子どもたちのためにと、お馴染みのヴァイオリンの名曲を選んで演奏してくださいました。今回のコンサートでは多少の騒めきは否めない子どもたちに対して、演奏者の方々から大きなご理解とご協力をいただき、楽しみながら音楽に親しむことができました。ハンドベルとヴァイオリンの美しい音色が子どもたちの心の奥に消えることなく残っていくものと思います。

3園合同 星の子音楽会 [11/11]



[附属]
季節の移り変わりと共に大きく成長してきた子どもたちの「友だちと協力する力、最後までやり遂げる力、自信を持つ力」を合わせ子どもたちと附属幼稚園の教師が一丸となってステージドリルで「四季」を表現しました。

[聖アンナ]
附属幼稚園聖アンナの先生作詞 短期大学の附田勢津子教授作曲の聖アンナオリジナルソング♪「よろこび・アレレヤ」「ノアの箱舟」をテーマに表現を楽しみました。短大生の衣装は短大の池田拓馬講師のプロデュースです。

[第二しのめ]
テーマは「八戸」。
八戸の文化に触れ「八戸小唄」と「三社大祭のお囃子」を明るく、にぎやかに演奏しました。

3幼稚園の年中さんたちも出演しました。「ことりたちは」では神様のお恵みへの感謝の心で、「おはようクレヨン」では好きな色を思い出しながら元気に歌いました。



第二しのめ 入賞おめでとう

第83回東奥児童美術展が開催され、年少～年長の絵画を出品し、年少組3名の作品が選ばれ、それぞれに賞をいただきました。

準特選(八戸市教育長賞)＝小坂 滯生さん 大きなじゃがいもをたくさん収穫したときの絵を伸び伸びと描きました。ほのぼのとした可愛らしい絵となっています。

入選＝出貝 優那さん・佳作＝田口 明依さん 園外保育でこどものくにへ行った時にクラスのお友だちと乗った汽車の絵を描きました。自分だけでなくお友だちとにこにこ笑顔で楽しんでいるところを上手に表現しました。線がはっきりとし力強い絵となっています。

入賞した3名の絵は、10月に青森県立郷土館にて展示していただきました。



準特選(八戸市教育長賞) 小坂 滯生さん



入選 出貝 優那さん



佳作 田口 明依さん

3園合同 附属3幼稚園冬季合同研修会 [1/6]



附属3幼稚園では、夏、冬の長期休業日に合同の研修会を行っています。

今回は、「子どもの絵について」を演題とし、日本美術家連盟会員、一水会常任理事の廣畑正剛氏を講師にお招きし研修を行いました。

先生のたくさんの体験の中から「楽しく、のびのび描くためには教師がたくさん褒めること…」という言葉がとても印象的でした。また、子どもの絵をみる時のポイント等をアドバイスしていただき、今後の絵画指導に役立てていきたいと思っています。

実技として、たくさんある技法の中から「糸引き絵」ストローを使つての「吹き絵」を参加者全員で体験しました。童心にかえり楽しんで取り組みました。

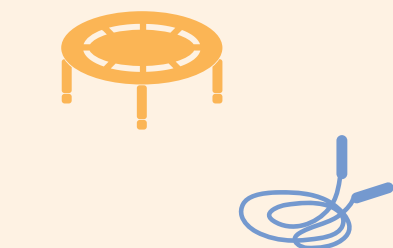
今回学んだことを、自分達なりにアレンジし、それぞれの年齢に合わせ、子どもと一緒に楽しみながら取り組んでいけたらいいなと改めて勉強になった有意義な一日でした。





川端 悠
八戸学院短期大学 講師

運動遊びとは、鬼ごっこや影ふみなど従来の身体を動かす遊びに工夫を加えたものになります。運動遊びによりリズム能力やバランス能力など7つに分類されるコーディネーション能力(運動神経)が養われます。



体育(運動遊び)

遊びの中に、体の発育・発達を促すプログラムを取り入れたのが運動遊びです。子どもの欲求を刺激して「楽しいからまたやりたい!」と感じてもらえるような内容・雰囲気作りを心がけています。



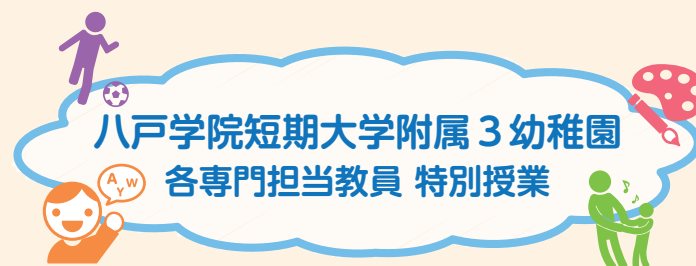
英語教室

楽しく英語に慣れ親しむことを目的としています。教員も参加して英語を話すなど、英語が楽しいと思えるように、子どもが好きなダンスや歌を取り入れながら活動を展開しています。



グレゴリー・チャールズ・アンソニー
八戸学院大学 講師

毎回、形や、色、身体など一つのテーマについて勉強します。子ども達とのコミュニケーションを重視しながら、音楽や絵など様々な方法で取り上げ気づきを促します。「英語は楽しい!」というポジティブなイメージを持ってもらえるとうれしいです。



八戸学院短期大学附属3幼稚園 各専門担当教員 特別授業

八戸学院短期大学附属3幼稚園では、法人上級学校の各専門担当教員による特別授業を展開しています。今回は、取組を紹介します。



音楽(リトミック)

音楽を全身で感じながら、より豊かに表現する手段として、リトミック遊びや、心地よい音楽を聴くことが幼児の時期に重要であると捉えて指導しています。色々な楽器や、身体を使った表現遊びは、心も身体も大きく成長させます。



附田 勢津子
八戸学院短期大学 教授

モンテッソーリの教育理念に基づいた感覚教育で、リズム・旋律・ハーモニーの音や音楽を五感で受け止めることで感受性の豊かな子どもが育ちます。また、参加する学生も園児から直接学ぶ機会となり保育者としての資質が養われます。



佐貫 巧
八戸学院短期大学 講師



池田 拓馬
八戸学院短期大学 講師

造形教室では、シャボン玉で絵を描く、染める、手や足を描くなど普段の保育の時間では行うことが難しい規模や空間を利用した造形活動を行っています。毎回、製作の過程を重視し、単なる造形活動ではなく子ども達の創造性や想像性が膨らむよう工夫しています。



造形教室

絵画表現の基本と体の動きを通した表現活動、子どもが本来持っている表現の遊びを楽しむことをねらいとして行っています。のびのびと楽しい活動の中で、造形を通して子どもたち自身が「何かを発見」し、「できた!」という気持ちを育みます。



同窓生
の広場

INTERVIEW

八戸から世界へ！

出会いの数ほど幸せになれる

初めてホテルの仕事に携わったのは、大学時代に友人から勧められたホテルのドアボーイ、ベルボーイのアルバイトがきっかけでした。最初は、お客様からチップをいただける割の良いバイトという感覚でしたが、様々な国の言葉を使いこなし、さっそうと仕事をこなすホテルマンを見ている内に憧れに変わり、ホテルの仕事に興味を持つようになりました。それから、バイトでお金を貯めては様々なホテルで食事をしたり、宿泊して独学でホテルについて勉強をしました。大学卒業後、昭和57年に八戸グランドホテルに就職。入社当初は、仕事が完全分業制の東京のホテルに対し、ドアボーイ、フロント、掃除など様々な業務を一人でこなさなければならない仕事の違いにギャップを感じました。今となっては、この経験から様々なことを覚え、仕事の幅を広げる良い機会になったと思います。また、アルバイトでしたが東京のホテルで働いたことも貴重な財産となっています。

好きな言葉に「出会いの数ほど幸せになれる」という言葉があります。入社以来、様々な方に助けられ、人との出会いの大切さを実感しています。これからもフロントでお客様をお迎えし、出会いを大切にしたいと思います。

【後輩へ贈る言葉】

努力は嘘をつきません。コツコツと努力を積み重ねていれば誰かが見ていて、助けてくれます。何事にも一生懸命取り組んでください。



長沼 弘次氏

Naganuma Koji

八戸グランドホテル
取締役総支配人

プロフィール

光星高校を昭和52年度(昭和53年3月)に卒業。千葉商科大学に進学し昭和57年八戸グランドホテル入社、営業本部長、副総支配人を経て平成26年9月より取締役総支配人に就任。

部活動を支える縁の下の力持ち！ ～八戸学院大学 硬式野球部～

職員 ファイル

④



新沼 貴志

学校法人光星学院 総務部 管財課

練習では、私がバッティング、竹内コーチがディフェンスと言うようにセクション別で指導しています。学生は親元を離れ寮生活をしており、時には親代わりとして様々な相談にのるなど、学生のトータルケアを心がけています。4年間の学生生活で野球の技術だけでなく、野球を通して、将来、社会で活躍するために必要な力や生涯付き合える仲間を見つけてほしいと思います。

【プロフィール】

岩手県出身。八戸大学商学部 卒業。
平成15年4月より八戸大学硬式野球部コーチに就任。



竹内 健人

学校法人光星学院 総務部 管財課

兄の影響で小学校2年生から野球を始めました。大学時代に監督から苦しい練習も勝つことで報われ喜びに変わると教わり、その言葉を胸に苦しい練習にも耐え、日本一を経験することができました。今後、自分が指導者として努力することの大切さと勝つ喜びを伝えていきたいと思っています。練習ではコーチとして接していますが、学生とは年齢も近く、先輩として学生生活などもアドバイスできればと思います。

【プロフィール】

静岡県出身。亜細亜大学経済学部 卒業。
平成27年4月より八戸学院大学硬式野球部コーチに就任。



佐藤 裕次

八戸学院大学 学務部 教務学生課

学生と寮で寝食を共にしています。寮生活では、学生にスケジュール管理や体調管理、体重管理、勉強などのサイクルを作成させ自己管理を行わせています。また、履修科目や時間割のことなど相談を受けることもあり、学生の状況を把握しながら対応しています。寮は、ON(練習)からOFFに切り替える場所ですが、OFFでも朝全員で掃除をするなど協調性を重んじています。

【プロフィール】

福島県出身。八戸大学ビジネス学部 卒業。
平成25年7月より八戸学院大学勤務。





法 官 新 一
Shinichi Hogan

新

年明けましておめでとつ
ございます。

皆様には恙なく新しい年をお迎えに
なつたこととお慶び申し上げます。
今年は、干支の9番目、申年にあ
りますが、法人恒例の新年会を、
ご来賓並びに外郭3団体の皆様、そ
して本学院の学園サービスと教職員
の皆様も一堂に会してお祝いできま
すことに感謝を申し上げます。
「昨年の新年会の時に4つの目標を
発表させてもらいました。室内多目
的体育施設の建設、看護学科の四
大化、短大校舎の建設と教育改革。
お陰様でこの2年間で大きな進展が
見られました。改めて、ご協力ご尽

力くださいました関係各位に御礼
を申し上げます。また、本年度の
各学校の教育活動、学業・スポーツ・
社会貢献・進路など大変顕著な成
果でした。あるマスコミ関係者から
「八戸学院に勢いを感じる」と褒め
られたことは、何より一人ひとりの
学生・生徒・園児達としっかりと向
き合う教職員のご指導の評価と思つ
ております。同時に今後においても
一層の励みになり、さらに頑張つて高
めていきたいものだと思います。
間もなく法人は創立60年になり
ます。相変わらずの少子化現象の
中で、学校の置かれた状況は、なお
厳しい現状にあります。人口が減る
と、社会構造や産業構造にも大き
な変化を及ぼすと言われています
が、こうした中、国の政策として「地
方創生」ということが打ち出され、
我々も改めて「学校としての役割、
あるいは学校として何ができるのか」
を考え行動しなければならぬ時に



平成 28 年
八戸学院 新年の集い



(平成28年1月5日 年頭の挨拶)



《解説》裏書き

「念々直晴」＝時の流れをせき止める、過去も未
来も今の中に集めて思いをこらす。すべての目
で垂直、正しく曲がらぬ、生き生きと澄み切つ
ている黒目。黒目の奥には神仏が動く＝

私

が東京で勤務した学園を
退職する時に、お世話に
なつた文学部長T先生のところへ
挨拶に伺つた折、先生は一枚の短冊
に4文字の激励を記してくださいま

した。学生時代を通して多くの訓
導を受けたのですが、その時頂い
たこの短冊がそれ以来ずっと生き方
の中に染みこんでいます。先生はす
でにお亡くなりになりましたが、八
戸市教育委員会主催の教育講演会

きています。そういう意味
で、今年は学校の未来を皆さんと一
緒に考えていく年になると思います
ので、よろしくお願い致します。
この後に法人創立60周年を迎え
る記念の事業について古川常務理
事・局長が説明することになってお

りますが、このことについても成功
させるためにも皆様のご協力をよろ
しくお願いしたいと思います。
最後に、皆様にとりまして、ま
た学院にとつても、健康で明るく元
気な良い年であることをお祈り申し
上げ挨拶いたします。

廣畑正剛氏より絵画14点寄贈

一水会会員で多方面にわたり活
躍されている画家の廣畑正剛氏が、
この程短期大学新校舎建設に際し
絵画を寄贈してくださいました。
先生とは40数年来のお付き合いで
大学の先輩でもあります。たくさ
んの絵画は、学生、生徒、園児の
生活する法人各施設に飾られてい
ます。



寄贈いただいた絵画の前で廣畑正剛氏(右)と外崎短大学長(中)

で来八され、「教師道」についてお話
された時の手伝いもしました。戦争
の時代を経て多くの友をなくしたこ
とから「骨」という号をお使いになつ
たことも伺いました。

私は八戸にUターンしてから40年
以上経ちますが、その時頂いた短
冊は家の中の柱にかけて時折、目に
していました。短冊を頂くときに

柱から外して掃除をしながら額から
出して裏に書いて頂いた解説もじつ
くり見るがありました。一文字
一文字に込められた意味が丁寧に解
説されていました。40数年を経て意
味が良く理解できたような気がし
ました。年齢がそうさせているのか
もしれないと思ひながら、改めて先
生の深い思いが伝わってきたように思
えました。

り放置の状態でした。「念々直晴」
は文字がすくなく覚えやすかつたの
でしっかり記憶して、教員時代に生
徒の前で何回か使わせてもらったこ
ともあります。

先日、暫くぶりに目がとまり、





校舎の雪囲い



野辺地西高等学校 実習棟



教室から見た雪囲い

10月末、野辺地の冬の風物詩『雪囲い』が今年も実習棟の窓にかけられた。例年実習棟の窓ガラスの破損被害がでる本校だが、今年は雪の降るのが遅く量もそれほど多くないと感じていた。しかし、年末から年始にかけて一気に挽回するかのような量の雪が降り積もった。軒の雪は垂れ下がり、屋根から落ちた雪も窓ガラスの高さに迫っている。今年は暖冬というが雪が降らないわけではないという。今まで雪囲いが生徒を守ってくれている。そしてこれからも。

(文／佐藤 一成)

八戸学院野辺地西高等学校



正門